

2. 調査結果

(1) 実地調査によって生息が明らかになった哺乳類

表 4-2 生息が明らかになった哺乳類

	1	2	3	4		5	6	7	8	9	10	11	12
	沖ノ島	地島	大島	孔大寺山	城山	さつき松原	釣川中流域	吉田多礼貯水池	許斐山	磯辺山	名残	八所宮	鐘崎海岸
キュウシュウノウサギ					○	○				○			
アカネズミ					○								
クマネズミ	○												
イノシシ		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
ニホンジカ										○			
ホンドテン				○	○	○	○		○	○	○	○	
アライグマ							○		○				
シベリアイタチ				○					○	○		○	
アナグマ					○								
ホンドタヌキ				○	○	○			○				
キクガシラコウモリ				○	○		○						
アブラコウモリ	○					○	○	○	○	○	○	○	○
ユビナガコウモリ							○						
モモジロコウモリ							○						
ヒミズ					○								
コウベモグラ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バンドウイルカ			○										

(2) 自動撮影装置による調査結果

表 4-3 自動撮影装置による調査結果

	福岡教育 大学構内	城山中腹	ふれあいの森	許斐山山麓	許斐山山頂
イノシシ	○	—	○	○	—
アナグマ	○	○	○	—	—
タヌキ	○	○	○	○	—
シベリアイタチ	○	—	—	—	—
ホンドテン	○	○	○	—	○
ノウサギ	—	○	—	—	○
アカネズミ	—	○	—	—	—

※○：確認された —：確認できなかった

(3) 市民協力者による哺乳類の生息状況

表 4-4 市民協力者による哺乳類の生息状況

種名	大島	孔大寺山	宗像市街地	磯部山
イノシシ			○	○
アナグマ			○	
イタチ				○
ノウサギ	○			○
ニホンジカ				○
キクガシラコウモリ		○		

(4) 外来野生生物

2010年11月19日付け関西野生生物研究所の川道美枝子氏の報告によると建造物に残された5本指の爪跡と手形によって宗像大社にアライグマの生息を確認している。今回の調査には本種の記録が出てこなかった。しかしながら、福岡県においては丘陵地ではほぼ全域にわたって本種が生息していることは間違いない。アライグマ以外の外来野生哺乳類の記録はない。アライグマの食性は広範でイシガメなどが絶滅の危機に瀕している。

(5) 海生哺乳類

バンドウイルカが数年前、宗像市の大島の加代鼻に打ち上げられた記録がある。(福岡教育大学福原教授撮影)



図 4-2 バンドウイルカ